

Friendly Awara

VOL.11

紹興市文理学院附属中学校友好訪問団—あわら市表敬訪問—



平成 26 年 8 月 22 日



齊藤会長

～ごあいさつ～

会員の皆様におかれましては、本協会の事業推進及びあわら市・紹興市両都市間の相互理解と交流事業の促進にご理解とご協力を賜り心からお礼申し上げます。

さて、昨年は、あわら市と紹興市との交流再開年とも言える一年となりました。昨今の日中関係の冷え込みから、相互の使節団派遣事業の継続が危ぶまれていたところですが、昨年3月の第27次あわら市日本中国友好親善少年使節団派遣を皮切りに、8月には紹興市文理学院附属中学校より22名の訪問団があわら市を訪れ、市内及び県内の文化に触れるとともに、芦原中学校生徒との交流を深めることができました。

さらに、本年3月には、第28次あわら市日本中国友好親善少年使節団及び第4次福井県立金津高等学校日中友好使節団が派遣されております。今回の少年使節団の派遣からは、金津中学校の生徒も団員として加わることとなり、今後は市内一円において交流事業への理解が深まるものと期待されます。

藤野巖九郎先生と文豪魯迅との師弟愛を機縁とする、両市の友好関係も新たな段階へと進めるよう、なお一層の努力を重ねて参りますので、皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

～中国見聞録～

あわら市日中友好親善少年使節団報告

(芦原中学校校長 坂井優 先生)

□ 第28次 (平成27年 3月)

- 1 目的 (1) あわら市と紹興市の「友好の絆」を深める
(2) 見聞を広げ、グローバルな人格形成を図る
- 2 期日 平成27年3月15日(日)～20日(金) 5泊6日
- 3 訪問先 紹興市文理学院附属中学校、紹興市人民政府訪問
紹興市並びに上海市の歴史的遺産・史跡見学
- 4 団員 坂井優芦原中学校校長(団長)、松野信一金津中学校教頭(副団長)、
坂東直哉芦原中学校教諭(指導員)、番匠裕美子金津中学校教諭(指導員)
後藤奈穂子福井県立金津高等学校教諭(指導員)
生徒 17名(芦原中学校6名、金津中学校8名、金津高校3名)
- 5 成果 本年度から、あわら市の国際交流事業として、芦原中学校並びに金津中学校から14名の中学生が派遣されました。さらに、3年ぶりに福井県立金津高等学校から3名の生徒が参加しました。

今回の訪問の目的の1つである「友好の絆を深める」は、生徒たちのチームワークで見事に達成することができました。



英語の授業

紹興市文理学院附属

中学校では、「熱烈歓迎」の看板が掲げられ、「こんにちは」と日本語で挨拶してくれる生徒もいて感激しました。14名の中学生たちは、2年生の英語の授業に参加し、5人1組のグループ学習での会話中心の学習を体験しました。舞蹈室での交流会では、お互いの国の「こま」や日本の「けん玉」を一緒に楽しみました。その光景はとても素晴らしく、言葉や文化は違うけれど、次代を担う生徒たちの心が昔遊びによって一つになり、会場が、友好敬愛の和やかで温かい雰囲気になり満ち溢れました。

また、目的の2つ目の「見聞を広げる」ことは、紹興市内の『八字橋』や『東湖』史跡めぐり、上海に移動しての『上海博物館』や『朱家角』、『豫園』、『玉仏寺』などの歴史的遺産や、近代的な『東方明珠テレビタワー』などの見学を通して実感することができました。過去から未来へ、力強く歩み続ける中国の力強さを肌で感じました。

私たちを心から温かく歓迎していただき、6日間様々な面でお世話いただきました紹興市の関係者の皆様、このような貴重な機会を与えてくださいましたあわら市、あわら市教育委員会、日中友好協会、保護者、添乗員をはじめ関係するすべての皆様に、心から厚く御礼を申し上げます。



鲁迅故居



附属中

□ 第27次 (平成26年 3月)

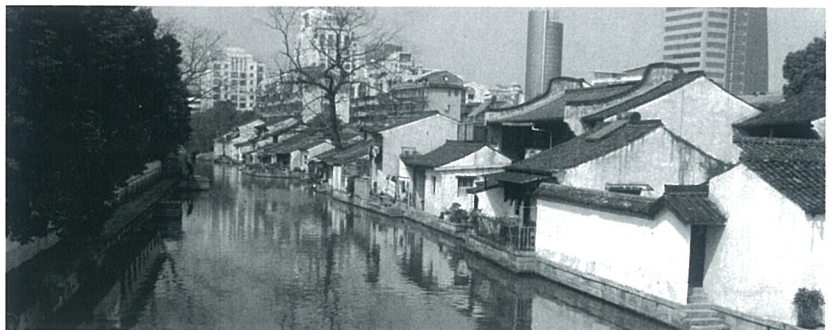
- 1 目的 (1) あわら市と紹興市の「友好の絆」を深める
(2) 見聞を広げ、グローバルな人格形成を図る
- 2 期日 平成26年3月16日(日)～21日(金) 5泊6日
- 3 訪問先 紹興市文理学院附属中学校、紹興市人民政府訪問
紹興市ならびに上海市の歴史的遺産・史跡見学
- 4 団員 寺井靖高教育長(団長)、坂井優校長(副団長)、石崎隆幸教諭(指導員)、
乙部愛子教諭(指導員)
生徒 12名(男子2名、女子10名) 計16名
※今回は、あわら市より橋本達也市長他2名、シンガーソングライター・ヒナ
タカコ氏他1名同行
- 5 成果 生徒たちは、指導者による14回の事前学習会を通して、藤野先生と魯迅先生の
師弟愛ならびに未来に向けて両市の交流の絆をさらに深めるという使節団の使命
を再確認しました。



文理学院附属中学校訪問では、「英語」の授業交流、その後の交流会では、お互いの学校・文化の紹介のあと、同行されたヒナタカコさん、本校生徒、文理学院生徒による中国語で『惜別～いつこの空～』を大合唱いたしました。その光景はたいへん素晴らしく、言葉や文化は異なるけれども、次代を担う両市の生徒たちの心が一つになったように思え美しく見えました。

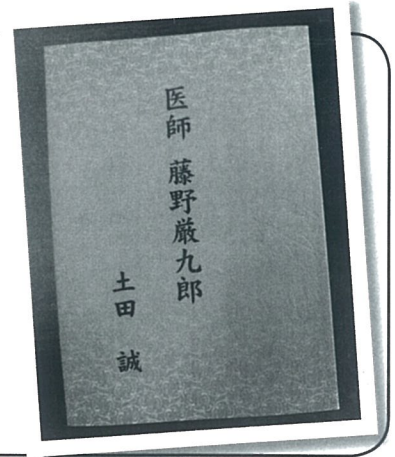
生徒たちは芦原中学校の代表として、規律を守り礼儀正しく、病气や怪我もなく、立派に2つの目的を達成するとともに、大変貴重な経験をさせていただきました。

温かく迎えてくださった紹興市の関係者の皆様、支えていただきましたあわら市関係者の皆様、家族の皆様に、心から感謝申し上げます。



『医師 藤野巖九郎』(土田 誠氏 著) 刊行

藤野巖九郎先生については、文豪魯迅の著書『藤野先生』の中で、その偉大な人格が語られており、魯迅と藤野先生の師弟愛についてはよく知られているところですが、その後の藤野先生の医師活動についてはあまり知られていません。一昨年、あわら市下番の土田誠氏が、旧芦原町で耳鼻咽喉科医師として活躍した藤野先生について記した小説『医師 藤野巖九郎』を刊行され、その人となりを伝えていきます。現在、藤野巖九郎記念館で販売しています。



中国総領事があわら市を訪問

平成26年6月11日、葛^{かつ}廣^{こう}彪^{ひょう}駐名古屋中華人民共和国総領事館総領事があわら市を表敬訪問しました。葛総領事は平成26年1月に着任され、福井県に来られるのはこれが初めて。流暢な日本語で着任の挨拶をされた後、円滑な業務の執行のため、市及び協会と総領事館が相互に連携を図り、協力していくことを約束しました。



巖九郎記念館から



あわら市観光協会職員 ^{リュウ トウレン} 劉 冬蓮さん

去年4月に、湯のまち広場内に北陸随一の『芦湯』がオープンしたことによって、湯のまち広場は毎日のように観光客が訪れ、足湯を楽しむ人々で賑やかになりました。芦湯を楽しんだ後、藤野巖九郎記念館に足を運んでくださるお客様も少なくありません。引き続き、藤野巖九郎先生や魯迅に関する資料の展示や保管などに努め、藤野巖九郎記念館に来られる国内外の方々を温かく迎え、ご案内したいと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

来館者数 平成26年度 1,569名 (内 中国の方 200名)
累計 43,514名 (内 中国の方 5,355名) ※平成27年2月28日現在

〈平成26年度の主な事業内容〉

平成26年

- 4月24日 あわら市日本中国友好協会役員会 (文化会館)
- 5月22日 あわら市日本中国友好協会総会 (文化会館)
- 6月11日 駐名古屋中華人民共和国総領事館葛廣彪総領事一行4名来市
- 6月22日 NPO法人福井県日本中国友好協会 通常総会 (福井県職員会館ビル)
- 8月21日 紹興市文理学院附属中学校友好訪問団一行22名来市 (～23日)

平成27年

- 2月14日 新春講演会・懇親会 (福井県国際交流会館)
- 3月15日 第28次あわら市日中友好親善少年使節団派遣
 (団長 坂井優 芦原中学校校長 一行18名 ～20日)
 ※今回の派遣より金津中学校生徒が使節団に加わる
 第4次福井県立金津高等学校日中友好使節団派遣
 (団長 後藤奈穂子 教諭 一行4名 ～20日)

編集後記 平成26年度より、あわら市日中友好少年使節団への金津中学校生徒の参加が開始されました。これを契機として、市内に日中友好の機運がますます高まることを期待するとともに、子供たちの国際意識の醸成の一助となる事を願っています。